

法務省民一第394号
令和8年2月26日

法務局長 殿
地方法務局長 殿

法務省民事局長
(公印省略)

戸籍届書の標準様式の全部改正について（通達）

民法等の一部を改正する法律（令和6年法律第33号）が本年4月1日から施行されること、及び令和7年地方分権改革に関する提案募集において、戸籍事務に関する提案があったことを踏まえ、戸籍届書の標準様式を別紙1から35までのとおり定め、これに関する従前の当職通達を廃止するので、これを了知の上、貴管下支局長及び管内市区町村長に周知方取り計らい願います。

なお、本通達は本年4月1日から施行しますが、従前の様式による各届書の用紙がある場合には、当分の間、本通達実施後もこれを用いることができることとしますので、念のため申し添えます。

出生届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理	令和 年 月 日					
第 号						
通知(送付)	令和 年 月 日					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、カタカナ、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則カタカナで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。
日本国籍を有する子の場合、名のフリガナ欄には、氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められている読み方を記載してください。

生まれたところが、台湾またはパレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）である場合、地域から記載することができます。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1 台湾
2 パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）にも用いられます。

出生証明書

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の方で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

子の氏名		男女の別	1男 2女
生まれたとき	令和 年 月 日	午前 時 分	午後 時 分
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1 病院 4 自宅	2 診療所 5 その他
	出生したところ	番地 番号	
	(出生したところ)の種別1~3) 施設の名称		
体重及び身長	体重	グラム	身長 センチメートル
	単胎・多胎の別	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)	
母の氏名		妊娠週数	満 週 日
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む) 死産児 (妊娠満22週以後)		人 胎
1 医師 2 助産師 3 その他	上記のとおり証明する。		令和 年 月 日
	(住所)	(氏名)	番地 番号

(1) 子の氏名 (フリガナ) (外国人のときはローマ字を付記してください)	氏 名	父母との続き柄	<input type="checkbox"/> 嫡出子 <input type="checkbox"/> 嫡出でない子	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	生まれたとき	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	時 分
(2) 生まれたところ	番地 番号			
(3) 住所 (住民登録をするところ)	世帯主の氏名	世帯主との続き柄		
(4) 父母の氏名 生年月日 (子が生まれたときの年齢)	父	母	年 月 日 (満 歳)	年 月 日 (満 歳)
	番地 番号			
(5) 本籍 (外国人のときは国籍だけを書いてください)	筆頭者の氏名			
(6) 同居を始めたとき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)			
(7) 子が生まれたときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)			
(8) 父母の職業	父の職業	母の職業		
(9) その他				

届出人	<input type="checkbox"/> 1. 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 () <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長			
	住所			
署名 (※押印は任意)	本籍	番地 番	筆頭者の氏名	
	印	年 月 日	生	
事件簿番号				

※ 出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。

出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつかられず、不利益を被るおそれがあります。

詳しくは法務省のホームページをご覧ください。

Q 無戸籍 法務省

この欄は父、母又はその法定代理人である届出人が記載してください。

地方公共団体情報システム機構 宛 (出生届の届出地市区町村長 宛)	個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行申請書
--------------------------------------	---------------------------

申請にあたり、以下について記入してください。
☑氏名、住所、生年月日、性別は出生届に記載された内容と同じです
☑住所地又は住所地以外の希望した送付先に確実に個人番号カードを受けとれます

①利用者証明用電子証明書暗証番号		<input type="checkbox"/> 利用者証明用電子証明書の発行を希望しない
②住民基本台帳用暗証番号【必須】		③券面事項入力補助用暗証番号【必須】
④個人番号カード送付先 【住所地以外への送付を希望する場合】		
⑤住所地において個人番号カードの送付を受けることができない理由		
⑥連絡先電話番号【必須】		

(注)
①利用者証明用電子証明書を利用するための暗証番号です。
利用者証明用電子証明書...インターネットを閲覧する際などに、利用者本人であることを証明する仕組みであり、健康保険証としての利用などに必要です。
利用者証明用電子証明書の発行を希望しない場合、①の欄に暗証番号は記入せず、□に✓をつけてください。
②住民票コードをテキストデータとして利用するための暗証番号です。
③個人番号や基本4情報を確認し、テキストデータとして利用するための暗証番号です。
④個人番号カードは、簡易書留等により住所地へ送付されます。住所地以外の地を個人番号カードの送付先とする場合のみ記載してください。

※出生届、出生証明書に記載された事項は、この申請にも用いられます。
※電子証明書について、氏名のコンピューター入力に際して画面上に正確に表示されない文字(代替対象文字)は、代替文字に置き換わります。
代替文字を変更したい場合は、個人番号カードの交付後に、住所地市区町村長へその旨を申し出てください。

婚姻届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理	令 和	年	月	日			
第				号			
通 知 (送 付)	令 和	年	月	日			
第				号			
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住 民 票	通 知	

(1)	氏 名 (フリガナ)	夫 にな る 人		妻 にな る 人																			
		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名																		
(2)	住 所 (住民登録をして いるところ)	年 月 日		年 月 日																			
(3)	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	番地 番		番地 番																			
		筆頭者 の氏名		筆頭者 の氏名																			
	父母及び養父母 の 氏 名 父母との続柄 (右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	父	続柄 男	父	続柄 女																		
		母		母																			
		養父	続柄 養 子	養父	続柄 養 女																		
		養母		養母																			
(4)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍 (左の☐の氏の人ですでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 番地 番																				
(5)	同居を始めた とき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)																					
(6)	初婚・再婚の別	<input type="checkbox"/> 初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)		<input type="checkbox"/> 初婚 再婚 (☐死別 ☐離別 年 月 日)																			
(7)	同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>3. 企業・個人商店等 (官公庁は除く) の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯 (日々また は1年未満の契約の雇用者は5)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>夫</td> <td><input type="checkbox"/>妻</td> <td>6. 仕事をしている者のいない世帯</td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	3. 企業・個人商店等 (官公庁は除く) の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5)	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯 (日々また は1年未満の契約の雇用者は5)	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	6. 仕事をしている者のいない世帯
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯																					
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯																					
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	3. 企業・個人商店等 (官公庁は除く) の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が 1人から99人までの世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5)																					
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯 (日々また は1年未満の契約の雇用者は5)																					
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯																					
<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> 妻	6. 仕事をしている者のいない世帯																					
(8)	夫 妻 の 職 業	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業																					
	そ の 他																						
	届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫 印		妻 印																			
	事 件 簿 番 号																						

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。

証 人		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番地 番	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 台湾
- パレスチナ (ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

☐には、あてはまるものに☐のようにするしをつけてください。

外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査 (統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管) にも用いられます。

離婚届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理	令和 年 月 日					
第 号						
通知(送付)	令和 年 月 日					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(1)	(フリガナ) 氏 名	夫	妻		
	生 年 月 日	年 月 日	年 月 日		
(2)	住 所				
	本 籍	番地番			
(3)	父母及び養父母の氏名 父母との続き柄 <small>(右記の養父母以外にも養父母がいる場合には、その他の欄に書いてください)</small>	夫の父	続き柄男	妻の父	続き柄女
		養父	続き柄養子	養父	続き柄養女
(4)	離婚の種別	<input type="checkbox"/> 協議離婚	<input type="checkbox"/> 和解	年 月 日成立	年 月 日成立
		<input type="checkbox"/> 調停	<input type="checkbox"/> 請求の認諾	年 月 日成立	年 月 日認諾
(5)	婚姻前の氏にもどる者の本籍	<input type="checkbox"/> 夫	<input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる		
		<input type="checkbox"/> 妻	<input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる		
(5)	未成年の子の氏名	父母双方が親権を行う子			
		父(夫)が親権を行う子			
		母(妻)が親権を行う子			
		親権者の指定を求める家事審判又は家事調停の申立てがされている子			
	(協議離婚で親権者の定めをした場合)相違なければ、それぞれが☐のようにするしをつけてください。	夫 <input type="checkbox"/> 離婚後も共同で親権を行使すること又は単独で親権を行使することの意味を理解し、真意に基づいて合意した。	妻 <input type="checkbox"/> 離婚後も共同で親権を行使すること又は単独で親権を行使することの意味を理解し、真意に基づいて合意した。		

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 台湾
 - パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)
- そのほかに必要なもの
- 調停離婚のとき→調停調書の謄本
 - 審判離婚のとき→審判書の謄本と確定証明書
 - 和解離婚のとき→和解調書の謄本
 - 認諾離婚のとき→認諾調書の謄本
 - 判決離婚のとき→判決書の謄本と確定証明書

事件簿番号

(6)	同居の期間	年 月 から	年 月 まで
(7)	別居する前の住 所	番地番 号	
(9)	別居する前の世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)</small>	
		(10) 夫妻の職業	夫の職業
その他			
	届出人署名(※押印は任意)	夫 印	妻 印

証 人 (協議離婚のときだけ必要です)		
署 名(※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番地番	番地番

☐には、あてはまるものに☑のようにするしをつけてください。

今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。)

同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

未成年の子がいる場合は、次の☐のあてはまるものにするしをつけてください。
離婚後の子育ての分担について <input type="checkbox"/> 取決めをしている。 <input type="checkbox"/> まだ、決めていない。 子育ての分担：子の身の回りの世話を期間で分担したり、子に関する事項(例えば、教育に関する事項、医療に関する事項など)の決定を父母で分担したりすること。父母の一方が全て行うとの取決めをしている場合も「取決めをしている。」にするしをつけてください。
親子交流について <input type="checkbox"/> 取決めをしている。 <input type="checkbox"/> まだ、決めていない。 親子交流：未成年の子と離れて暮らしている親が子と定期的、継続的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などの方法で交流すること。父母双方が定期的、継続的に子育てをすることの取決めをしている場合や、諸事情により交流を実施しないとの取決めをしている場合も「取決めをしている。」にするしをつけてください。
経済的に自立していない子(未成年の子に限られません)がいる場合は、次の☐のあてはまるものにするしをつけてください。
養育費の分担について <input type="checkbox"/> 取決めをしている。 <input type="checkbox"/> まだ、決めていない。※未成年の子については、取決めをしていなくても暫定的に養育費を請求することができる制度があります。 養育費：経済的に自立していない子(例えば、アルバイト等による収入があっても該当する場合があります)の衣食住に必要な経費、教育費、医療費など。諸事情により養育費を支払わないとの取決めをしている場合も「取決めをしている。」にするしをつけてください。

父母が離婚するときは、親子交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならないこととされています。

詳しくは、各市区町村の窓口において配布している法務省パンフレットをご覧ください。親権に関する説明や、子育ての分担、親子交流及び養育費等、離婚をするときに取り決めておくべきことをまとめた情報を法務省ウェブサイト内にも掲載しています。







日本司法支援センター(法テラス)では、親子交流の取決めや養育費の分担など離婚をめぐる問題について、相談窓口等の情報を無料で提供しています。無料法律相談や弁護士費用等の立替えをご利用いただける場合もありますので、お問い合わせください。

【法テラス・サポートダイヤル】0570-078374 【公式ホームページ】<https://www.houterasu.or.jp>

死亡届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理	令和 年 月 日					
第 号						
通知(送付)	令和 年 月 日					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1) (フリガナ)	氏 名	
(2) 氏 名	氏 名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3) 生 年 月 日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後
(4) 死亡したとき	令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 午前 時 分 <input type="checkbox"/> 午後
(5) 死亡したところ	番地 番 号	
(6) 住 所 (住民登録をして いるところ)	番地 番 号	
(7) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	番地 番 号	
(8) 死亡した人の 夫または妻	<input type="checkbox"/> いる (満 歳) <input type="checkbox"/> いない (<input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)	
(10) 死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(11) 死亡した人の 職業・産業	職業	産業
そ の 他	(国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください)	
届 出 人	<input type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長 <input type="checkbox"/> 9. 後見人 <input type="checkbox"/> 10. 保佐人 <input type="checkbox"/> 11. 補助人 <input type="checkbox"/> 12. 任意後見人 <input type="checkbox"/> 13. 任意後見受任者	
住所	番地 番 号	
本 籍	番地 番 号	筆頭者 の氏名
署 名 (※押印は任意)	印	年 月 日生
事 件 簿 番 号		

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡したところが、台湾またはパレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)である場合、地域から記載することができます。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
1 台湾
2 パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

内縁のものはふくまれません。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)、高齢者の医療の確保に関する法律に基づくレセプト情報・特定健診等情報データベース(厚生労働省所管)、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく所要の感染症対策(厚生労働省所管)、予防接種法に基づく予防接種等関連情報データベース(厚生労働省所管)にも用いられます。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

一 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

一 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

一 「5老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

一 死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

一 傷病名等は、日本語で書いてください。
一 I欄では、各傷病について・発病の型(例:急性)・病因(例:病原体名)・部位(例:胃噴門部がん)・性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

一 妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後1年未満の死亡の場合は「妊娠満何週、産後満何日」と書いてください。

一 I欄及びII欄に關係した手術について、術式及びその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

一 「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

一 「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

一 傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

一 妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

一 母子健康手帳等を参考に書いてください。

一 氏名の欄には、医師本人が署名してください。記名押印は原則不可です。

氏 名	1男 2女	生年月日	明治 昭和 年 月 日 大正 平成 令和 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	午前・午後 時 分
死亡したとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分			
(12) 死亡したところ (13) 及びその種別	死亡したところの種別	1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他		
	死亡したところ (死亡したところの種別1~5)	番 地 号 番 番 号		
(14) 死 亡 の 原 因	I ◆I欄、II欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください ◆I欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください ◆I欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください	(ア) 直接死因	発病(発症) 又は受傷から死亡までの期間	
		(イ) (ア)の原因	◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例:1年3ヵ月、5時間20分)	
		(ウ) (イ)の原因		
		(エ) (ウ)の原因		
II ただし、欄が不足する場合は(エ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	部位及び主要所見	手術年月日	令和 平成 年 月 日 昭和
	手術	1無 2有	手術年月日	
(15) 死 因 の 種 類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焔による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 }	12不詳の死		
		外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき 令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 傷害が発生したところの種別 1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他 () 傷害が発生したところ 都道 市 区 府県 郡 町村 手段及び状況	
(17) 生後1年未満で 病死した場合の 追 加 事 項	出生時体重	単胎・多胎の別	妊娠週数	
	グラム	1単胎 2多胎 (子中第 子)	満 週	
(18) 追 加 事 項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日	前回までの妊娠の結果
	1無 2有	3不詳	昭和 平成 令和 年 月 日	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)
(19) その他特に付言すべきことがら				
上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 令和 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日 (病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) 番地 番 号 (氏名) 医師				

認 知 届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 令 和 年 月 日						
第 号						
通 知 (送 付) 令 和 年 月 日						
第 号						
書 類 調 査	戸 籍 記 載	記 載 調 査	附 票	住 民 票	通 知	

(フリガナ) 氏 名	認 知 さ れ る 子		認 知 す る 父			
	氏 名	父母との 続き柄	氏 名			
生 年 月 日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日			
住 所 (住民登録をして いるところ)						
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	番地 番		番地 番			
	筆頭者 の氏名		筆頭者 の氏名			
認 知 の 種 別	<input type="checkbox"/> 任意認知		<input type="checkbox"/> 審判		年 月 日 確 定	日 確 定
	<input type="checkbox"/> 遺言認知 (遺言執行者		<input type="checkbox"/> 判決		年 月 日 就 職)	
子 の 母	氏 名		年 月 日 生			
	本 籍		番地 番			
	筆頭者 の氏名					
そ の 他	<input type="checkbox"/> 未成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 死亡した子を認知する <input type="checkbox"/> 胎児を認知する					
届 出 人	<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	住 所					
	本 籍		番地 番		筆頭者 の氏名	
	署 名 (※押印は任意)		印		年 月 日 生	

養子縁組届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 令 和 年 月 日					
第 号					
通 知 (送 付) 令 和 年 月 日					
第 号					
書類調査	戸籍記載	記載調査	附 票	住 民 票	通 知

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
 養子になる人が未成年で養親になる人が夫婦のときは、一緒に縁組をしなければいけません。
 養子になる人が未成年のときは、あらかじめ家庭裁判所の許可の審判を受けてください。
 養子になる人が十五歳未満のときは、その法定代理人が署名してください。また、その法定代理人以外に監護をすべき者として父又は母（養父母を含む。）が定められているときは、その者の同意が必要です。
 筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
 外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 1 台湾
- 2 パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

養 子 に な る 人					
(フリガナ) 氏 名	養子 氏 名		養女 氏 名		
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日		
住 所 (住民登録をして いるところ)					
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)					番地 番
父 母 の 氏 名	父	続 き 柄	父	続 き 柄	
父 母 と の 続 き 柄	母	男	母	女	
入 籍 す る 戸 籍 ま た は 新 し い 本 籍	<input type="checkbox"/> 養親の現在の戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養親の新しい戸籍に入る		<input type="checkbox"/> 養子夫婦で新しい戸籍をつくる <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない		
					番地 番
	筆頭者の氏名				
監 護 を す べ き 者 の 有 無	(養子になる人が十五歳未満のときに書いてください) <input type="checkbox"/> 届出人以外に養子になる人の監護をすべき <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養父 <input type="checkbox"/> 養母がいる <input type="checkbox"/> 上記の者はいない				
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	印		印		

養 親 に な る 人					
(フリガナ) 氏 名	養父 氏 名		養母 氏 名		
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日		
住 所 (住民登録をして いるところ)					
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)					番地 番
	筆頭者の氏名				
そ の 他					
	新しい本籍（養親になる人が戸籍の筆頭者およびその配偶者でないときは、ここに新しい本籍を書いてください）				
					番地 番
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	養父	印		養母	印

届 出 人					
(養子になる人が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。)					
資 格	親権者(<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 養父)		<input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 特別代理人		
			親権者(<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養母) <input type="checkbox"/> 未成年後見人		
住 所					
本 籍	番地 番		番地 番		
	筆頭者の氏名		筆頭者の氏名		
署 名 (※押印は任意)	印		印		
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日		

証 人					
署 名 (※押印は任意)	印		印		
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日		
住 所					
本 籍	番地 番				番地 番

養子離縁届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 第 号	令和 年 月 日				
通 知(送付) 第 号	令和 年 月 日				
書類調査	戸籍記載	記載調査	附 票	住 民 票	通 知

記 入 の 注 意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
 養子が十五歳未満のときは、離縁後に法定代理人となる人が署名してください。
 筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
 外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。
 1 台湾
 2 パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）
 裁判離縁、死亡した者との離縁のときは、次のものがが必要です。
 調停離縁 → 調停調書の謄本
 認諾離縁 → 認諾調書の謄本
 審判離縁 → 審判書の謄本と確定証明書
 判決離縁 → 判決書の謄本と確定証明書
 和解離縁 → 和解調書の謄本
 死亡した者との離縁 → 許可の審判書の謄本と確定証明書

(フリガナ) 氏 名	養 子			
	養子 氏 名		養女 氏 名	
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日	
住 所 (住民登録をして いるところ)				
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)				番地 番
父 母 の 氏 名	父	続 き 柄	父	続 き 柄
父 母 と の 続 き 柄	母	男	母	女
離 縁 の 種 別	<input type="checkbox"/> 協議離縁 <input type="checkbox"/> 調停 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定 <input type="checkbox"/> 死亡した者との離縁 年 月 日許可の審判確定 <input type="checkbox"/> 和解 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 請求の認諾 年 月 日認諾 <input type="checkbox"/> 判決 年 月 日確定			
離 縁 後 の 本 籍	<input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない 番地 筆頭者の氏名 番			
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	印		印	

(フリガナ) 氏 名	養 親			
	養父 氏 名		養母 氏 名	
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日	
住 所 (住民登録をして いるところ)				
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)				番地 番
筆 頭 者 の 氏 名	筆頭者の氏名			
そ の 他				
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	養父	印	養母	印

届 出 人 (離縁する養子が十五歳未満のときに書いてください。届出人となる未成年後見人が3人以上のときは、ここに書くことができない未成年後見人について、その他欄又は別紙（届出人全員が別紙の余白部分に署名してください。署名欄に押印をしている場合は、余白部分への押印でも差し支えありません。）に書いてください。)	
資 格	離縁後の親権者 (□父 □養父) □未成年後見人 離縁後の親権者 (□母 □養母) □未成年後見人
住 所	
本 籍	番地 筆頭者の氏名 番
署 名 (※押印は任意) 生 年 月 日	印 年 月 日

証 人 (協議離縁または死亡した者との離縁のときだけ必要です)	
署 名 (※押印は任意) 生 年 月 日	印 年 月 日
住 所	
本 籍	番地 番

特別養子縁組届

令和 年 月 日届出

長 殿

受理 令和 年 月 日				
第 号				
通知(送付) 令和 年 月 日				
第 号				
書類調査	戸籍記載	記載調査	附 票	住民票 通 知

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないください。

特別養子縁組についての家庭裁判所の審判書の謄本と確定証明書が必要です。

筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 台湾
- パレスチナ (ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

		養子になる人		養親になる人	
(1)	(フリガナ) 氏 名	氏	名	養父 氏	養母 氏
	生 年 月 日	年 月 日		年 月 日	年 月 日
(2)	住 所 (住民登録をして いるところ)				
	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	筆頭者 の氏名		番地 番	
(4)	父 母 の 氏 名	父	続 き 柄 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	そ の 他	
	父 母 と の 続 き 柄	母			
(5)	審 判 確 定 の 年 月 日	年 月 日			
(6)	養 父 母 と の 続 き 柄	男		女	
	入籍する戸籍 または 新しい本籍	<input type="checkbox"/> (3)の本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後下記養親の現在の戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない <input type="checkbox"/> 下記のとおり			
		養親の戸籍	番地 番	筆頭者 の氏名	
	届出人署名 (※押印は任意)	養父		養母	
		印		印	

特別養子離縁届

令和 年 月 日届出

長 殿

受理	令和	年	月	日			
第				号			
通知(送付)	令和	年	月	日			
第				号			
書類調査	戸籍記載	記載調査	附 票	住民票	通 知		

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

特別養子離縁についての家庭裁判所の審判書の謄本と確定証明書が必要です。

筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 1 台湾
- 2 パレスチナ（ヨルダン川西岸地区及びガザ地区）

(フリガナ) 氏 名 生 年 月 日	養 子		(フリガナ) 氏 名 生 年 月 日	養 親					
	氏 名			養父 氏 名		養母 氏 名			
	年 月 日			年 月 日		年 月 日			
住 所 (住民登録をして いるところ)							住 所 (住民登録をして いるところ)		
本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	番地 番						本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	番地 番	
筆頭者 の氏名							筆頭者 の氏名		
審 判 確 定 の 年 月 日	年 月 日						そ の 他		
縁 組 前 の 本 籍	番地 番								
筆頭者 の氏名									
父 母 の 氏 名	父			続 き 柄			<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養子		
父 母 と の 続 き 柄	母			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女			届 出 人		
離 縁 後 の 本 籍	<input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない						本 籍 番地 番 筆頭者 の氏名		
						署 名 印 年 月 日生 (※押印は任意)			

離婚の際に称して
いた氏を称する届

(戸籍法77条の2の届)

令和 年 月 日届出

長 殿

受 理	令和	年	月	日			
第				号			
通知(送付)	令和	年	月	日			
第				号			
書類調査	戸籍記載	記載調査	附 票	住 民 票	通 知		

(1)	(フリガナ) 離婚の際に 称していた氏を 称する人の氏名	(現在の氏名、離婚届とともに届け出るときは離婚前の氏名)					
		氏	名	年	月	日生	
(2)	住 所 (住民登録をして) いるところ						
(3)	本 籍	(離婚届とともに届け出るときは、離婚前の本籍)					番地 番
		筆頭者 の氏名					
(4)	(フリガナ) 氏	変更前 (現在称している氏)			変更後 (離婚の際に称していた氏)		
(5)	離婚年月日	年 月 日					
(6)	離婚の際に 称していた氏を 称した後の本籍	((3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がいない場合には記載する必要はありません)					番地 番
		筆頭者 の氏名					
(7)	そ の 他						
(8)	届出人署名 (※押印は任意) (変更前の氏名)						印

離縁の際に称していた氏を称する届

(戸籍法73条の2の届)

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 令 和 年 月 日				
第 号				
通 知 (送 付) 令 和 年 月 日				
第 号				
書 類 調 査	戸 籍 記 載	記 載 調 査	附 票	住 民 票 通 知

(1)	(フリガナ) 離縁の際に 称していた氏を 称する人の氏名	(現在の氏名、離縁届とともに届け出るときは離縁前の氏名)		
		氏	名	年 月 日生
(2)	住 所 (住民登録をして いるところ)			
(3)	本 籍	(離縁届とともに届け出るときは、離縁前の本籍)		
		筆頭者 の氏名		番地 番
(4)	(フリガナ) 氏	変更前 (現在称している氏)	変更後 (離縁の際に称していた氏)	
(5)	縁 組 年 月 日	年	月	日
(6)	離 縁 年 月 日	年	月	日
(7)	離 縁 の 際 に 称 して いた 氏 を 称 した 後 の 本 籍	((3)欄の筆頭者が届出人と同一で同籍者がいない場合には記載する必要はありません)		
		筆頭者 の氏名		番地 番
(8)	そ の 他			
(9)	届 出 人 署 名 (※押印は任意) (変更前の氏名)	印		

親権(管理権)届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 第 号	令和 年 月 日			
通 知 (送 付) 第 号	令和 年 月 日			
書類調査	戸籍記載	記載調査		

(フリガナ) 未成年者の 氏 名	氏 名	年 月 日生
住 所 (住民登録をして いるところ)		
本 籍	筆頭者の 氏名	
(フリガナ) 親権者(管理 権者)の氏名	氏 名	年 月 日生
住 所 (住民登録をして いるところ)		
本 籍	筆頭者の 氏名	
(フリガナ) 親権者(管理 権者)の氏名	氏 名	年 月 日生
住 所 (住民登録をして いるところ)		
本 籍	筆頭者の 氏名	
届 出 事 件 の 種 別	<input type="checkbox"/> 親権者指定 <input type="checkbox"/> 親権喪失取消 <input type="checkbox"/> 親権辞任 <input type="checkbox"/> 管理権喪失取消 <input type="checkbox"/> 管理権回復 <input type="checkbox"/> 親権者変更 <input type="checkbox"/> 親権停止取消 <input type="checkbox"/> 親権回復 <input type="checkbox"/> 管理権辞任 <input type="checkbox"/> 父母(養父母)の協議 <input type="checkbox"/> 許可の審判 年 月 日 <input type="checkbox"/> 調停 年 月 日成立 <input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定	
そ の 他		

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
外国人のうち、次の地域の法を本国法とする人は、国籍に代えて地域を記載することができます。

- 1 台湾
- 2 パレスチナ(ヨルダン川西岸地区及びガザ地区)

そのほかに必要なもの

- 1 親権者の指定(父母の協議による場合を除く。)又は変更の届出について、調停によるときは調停調書の謄本、
審判によるときは審判書謄本及び確定証明書
- 2 親権喪失、親権停止又は管理権喪失の審判取消しの届出については、審判書謄本及び審判確定証明書
- 3 親権又は管理権の辞任又は回復の届出については、許可の審判書の謄本

届 出 人	
資 格	親権者 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養父 <input type="checkbox"/> 養母) <input type="checkbox"/> その他 ()
住 所	
本 籍	筆頭者の 氏名
署 名 (※押印は任意)	印
生 年 月 日	年 月 日
資 格	(協議で親権者を定めたときは、協議の相手方が書いてください) 親権者 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養父 <input type="checkbox"/> 養母)
住 所	
本 籍	筆頭者の 氏名
署 名 (※押印は任意)	印
生 年 月 日	年 月 日

未成年者の
後見届令和 年 月 日届出
長 殿

受理 第	令和 年 月 日			
通知(送付) 第	令和 年 月 日			
書類調査	戸籍記載	記載調査		

(フリガナ) 氏 名 生 年 月 日	後見を受ける人		後見(後見監督)をする人	
			<input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見監督人	
	氏	名	氏	名
	年 月 日		年 月 日	
住 所 (住民登録をして いるところ)				
本 籍	番地 番		番地 番	
	筆頭者の氏名		筆頭者の氏名	
届出事件の 種別・原因	開始 (就職)	<input type="checkbox"/> 親権を行う人がいない <input type="checkbox"/> 親権を行う人に管理権がない <input type="checkbox"/> 未成年後見監督人が就職した		開始 年 月 日
	終了	<input type="checkbox"/> 未成年被後見人が成年に達した <input type="checkbox"/> 親権者が親権(管理権)を回復した <input type="checkbox"/> 未成年被後見人が親権に服することになった <input type="checkbox"/> 未成年後見監督人の任務が終了した		就職 年 月 日
終了			終了 年 月 日	
そ の 他				
届出人署名 (※押印は任意)	印			

失 踪 届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受 理 令 和 年 月 日						
第 号						
通 知 (送 付) 令 和 年 月 日						
第 号						
書 類 調 査	戸 籍 記 載	記 載 調 査	附 票	住 民 票	通 知	

(フリガナ) 失踪した人の 氏 名	氏 名	年 月 日 生
最 後 の 住 所		
本 籍	筆頭者 の氏名	番地 番
死亡とみなされる 年 月 日	年	月 日
審 判 確 定 の 年 月 日	年	月 日
そ の 他		
届 出 人	<input type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	住 所	
	本 籍	番地 番 筆頭者 の氏名
	署 名 (※押印は任意)	印 年 月 日 生